



はーもにー

TCS 運営委員会 2018
No.5 2018.11.08

定演会場下見

栗田おとの

10月25日(木)、2019年の定期公演会場となる国立オリンピック記念青少年総合センターを下見して参りました。

最寄りの参宮橋駅ではなく、降り慣れた代々木公園駅から徒歩で向かいました。その日は年に一度あるかないかの快適な天候で、代々木公園や街路樹の銀杏を眺めながら約10分のウォーキングは、気持ちの良いものでした。

正門から入り、正面右寄りの階段を登ると広場があり、その左手のカルチャー棟に定演会場である小ホールがあります。

小ホールのホワイエ入口からは、係の方に案内していただきました。ホワイエは広くて明るく、ソファやトイレもあります。演奏後に来客とお話するにも十分なスペースです。ホールには本格的な扉を備えた入口が2箇所ありました。その扉を入ると、舞台がとても近くに見えます。ルーテルや白寿ホールよりも、客席のひな壇の傾斜が大きいのと、座席が横に多く(26席)奥行は少ない(12列)ので、一番後ろのお客様の顔まではっきりと見えそうです。お互いに少し気恥ずかしいかも知れません。座席はまずまずの座り心地で、車椅子用の場所も確保されています。

舞台は演劇にも使える仕様になっており、客席同様横に長く奥行があります。その日は畳まれていましたが、当日は両袖と上部にある反響板を使用できるそうです。音響や照明の装置は

充実していました。

舞台袖からは、段差無しで楽屋へと抜けられます。楽屋3つと楽屋事務室が1つ。これらを出演者で振り分けることとなります。楽屋には、冷蔵庫、洗面台、照明付きの鏡などがあります。廊下にも鏡が多く、出番前の衣装の確認には困らなそうです。セーフティボックスも有りませんでしたので、貴重品管理の心配も要りません。

ホールの内外に渡り、全てのスペースに余裕があり、階段という階段全てにエレベーターとスロープが設置され、出演者にも来場者にも優しい、行き届いた作りになっていました。この施設ならば、演奏以外に何の心配も有りませんので、あとはひたすら練習に力を注ぎ、良い演奏をするだけだと思いました。

このような会場を探し出してくださった運営委員の皆さま、ありがとうございました。

見学ツアーの感想

犬伏淳華

TCSの皆様に会えて、とても嬉しく幸せな時間を過ごすことができました。

美琴は、TCSの歌声が大好きで「春の声」を歌っていたときはいつもお腹の中で踊っていました。なので、いつもは泣き虫な娘なのですが、「あれ？聞いたことのある声だ!？」と安心するのか、ずっと穏やかで安心した表情だったので、私が驚きました。

また早くTCSで歌いたい気持ちでいっぱいです。なかなか伺えずにいて本当に申し訳ない

のですが、いつも TCS のことを思っています。
これからもどうぞよろしくお願いいたします。

楽しかった見学ツアーの一日

石崎敦子

今年の親睦会は、来年の演奏会会場見学と発声練習という事で国立代々木オリンピック青少年総合センターでありました。

絶好の秋晴。公園の中に建物が点在しているかの様な広いセンター内は、緑の木々の中にはちらほらと紅葉もみられ小さな旅気分です。早めに集まった団員は、久しぶりに赤ちゃん連れで参加された犬伏さんを囲んで大盛り上がり！

演奏会会場となる小ホールは、カルチャー棟ガラス張りの明るいエントランスを入った中ほどにありました。係の方の案内で説明を聞きながら回ったホワイエ、座席、舞台は、想像以上にゆったりとして立派な造りでした。特に楽屋は4部屋もあり机、椅子、鏡、冷蔵庫が完備それぞれ違った造りに「ソロの方はここがいいかしら」等と勝手なおしゃべりをしながら見学、廊下には全身が写る鏡がそこここにあると恥ずかしくなる程でした。

見学が終わるとエレベーターで2階に上がりそこから外に出て歩いて宿泊棟の9階のレストランへ。眼下には、明治神宮の森が、彼方には、スカイツリーも見えるロケーションです。でも、メインは楽しいおしゃべりでした。

午後は、再びカルチャー棟に戻り3階のレッスン室で木場先生の発声練習。声を届ける難しさ、ハモる難しさ等、冷や汗をかきながら身をもって体験し、改めて合唱の難しさと楽しさを教えて頂きました。木場先生ありがとうございました。おやつタイムには、亀田さんお手製の吊るし柿や久しぶりに参加された大隅さんや堀川さんの差入れにホッと一息。

予定通り4時に終了。楽しい計画をして下さった蒲田さん、野村さん始め委員の皆さま、ありがとうございました。

国立オリンピック記念青少年総合センター 小ホールの感想

亀田卓一

10月25日(木)の見学会の段取り誠にありがとうございました。さて表題ホールの第一印象は明るくて、広くて、きれいでした。担当委員のご努力のお陰で素晴らしいホールの予約ができたことに感謝いたします。以下に箇条書きで感じた事を列挙いたします。

- 客席が300以上で座席もゆったりとしている。また客席内に2本の通路があるために入りがやり易い。
- ホール近くにきれいなトイレが充分にある。ホワイエもルーテルより広い。
- 舞台が広く天井も高く、充分に音が響くと思われる。舞台横の反響板も大きい。山台の数も充分である。マイク、録音装置も問題はない。
- 舞台と控え室の移動に階段を使わないのは良い。控え室も明るくてきれいであるが、4室を指揮者、ピアニスト、ソリスト、男女団員にどのように割り当てるかちょっと問題か。
- ホールへのエレベーターは小さいが、階段を使ってもらえば問題はない。
- 聴衆者の足の便はルーテルより少し悪い。

以上



エトピリカ

編集後記 エトピリカとはアイヌ語でくちばし(etu)が美しい(pirika)という意味だという。日本では非常に生息数が少ない。(い)
連絡先: 鈴木美樹 miki.561739@gmail.com